

困り感を支えるためのチェックリスト

※ このチェックリストは診断のためのチェックではありません。子どもの傾向や特性を知り適切な支援を考
えるためのものです。提出の必要はありませんが、気になることがありましたら早めにご相談ください。

○あてはまる △わからない ×あてはまらない

観点	内容	○△×
聞く	聞き間違いがよくある。	
	個別に言われると聞き取れるが、集団では難しいことがある。	
話す	言葉につまったり、聞き取りにくい発音があったりする。	
	思いつくままに話し、順序だてて話すことが苦手である。	
読む	自分の名前を読むことができない。	
	絵本に興味を示さない。	
書く	○や△を真似して書くことが難しい。	
	人の顔の絵が描けない、または描こうとしない。	
	ぬり絵や線なぞり等を嫌がる。	
計算する	数字を20まで数えることが難しい。	
	指をさしながら、物を正確に数えることが難しい。	
	「2つのあめと3つのあめを合わせるといくつ？」等の計算が難しい。	
推論する	「どっちが大きい？」等の問題を間違えることがよくある。	
	クイズでとんちんかんな答えをすることがある。	
	勘違いがあったり、周りを驚かせるような考えをすることがある	
多動性	集まりなどで気が散りやすく、一人だけ別のことをしはじめることがある。	
	指示されたことをすぐに忘れてしまう。	
	集まりなどで一人だけ立ち歩くことがある	
衝動性	集まりなどで、一人だけ話しつづけたり、お友達にちょっかいをかける。	
	順番を待てずに、勝手に列に割り込むことがある	
	攻撃的な言葉や行動をとることがある（トラブルが多い）	
社会性	友達と仲良くしたい気持ちはあるが、友達関係がうまく築けない。	
	友達のそばにいるが、一人で遊んでいることがよくある。	
	周りの人が困ってしまうようなことも気にせずになってしまう。	
コミュニケーション	冗談や皮肉がわからず、言われたままの言葉を受けとってしまう。	
	会話の仕方が形式的で単調な声の高さで話したり、間合いがとれない。	
興味 こだわり	きまった興味に熱中することがある（昆虫、読書、ゲーム、車など）。	
	予定の急な変更や変化をいやがったり、怒ったりする。	
	とても得意なことがある反面、極端に苦手なことがある。	

※チェックの○が少なくても、子ども自身が困っているように見える場合は担任に相談してください。